

環境科学専攻 集中講義

原子力災害環境影響評価論Ⅱ

(01AD701)

(コードシェア：システム情報工学研究科 構造エネルギー工学特別講義Ⅹ)

概要：

日本原子力機構が取り組む福島復興事業や原発の廃炉措置に関する研究および緊急時対応について紹介する。



開講時期： H29 年 7 月 4 日（火）、5 日（水）、6 日（木）

	時間	教室	内容	教員 (日本原子力研究開発機構)
4 日 (火)	12:15- 13:30	総研棟 A-111	福島第 1 原子力発電所事故後の JAEA の 取り組み (全体概要)	吉川 英樹
	13:45- 15:00		放射性セシウムの吸脱着メカニズム	矢板 毅
	15:15- 16:30		被ばく線量評価と放射線の健康影響	竹安 正則
5 日 (水)	10:10- 11:25	総研棟 A-111	高度化する無人モニタリング技術	眞田 幸尚
	12:15- 13:30		放射能マップはこうしてできあがる	斎藤 公明
	13:45- 15:00		モデル除染、除染技術と中間貯蔵施設の 概要	川瀬 啓一
	15:15- 16:30		福島長期環境動態研究	新里 忠史
6 日 (木)	10:10- 11:25	理系棟 C-502	燃料デブリ取り出しに向けた研究	佐藤 一憲
	12:15- 13:30		原子力災害対応ロボットと樽葉遠隔技術 開発センター	山田 大地
	13:45- 15:00		事故に由来する廃棄物の管理と放射性核 種の汚染ふるまい	駒 義和

環境科学専攻 集中講義

原子力災害環境 影響評価論Ⅲ (01AD702)



概要：

原子力災害に対する緊急取り組みの現状と課題について紹介する。

開講時期： H29年7月12日（水）、13日（木）、14日（金）

	時間	教室	内容	教員
12日 (水)	10:10- 11:25	総 研 棟 A-	低濃度の水中の放射性 Cs の測定 手法とその標準化	産業技術総合研究所 保高 徹生
	12:15- 13:30	107	除染の費用と効果、放射性 Cs 含有土壌の減容化技術	
	13:45- 15:00 15:15- 16:30		放射性物質の大気沈着・拡散 課程と化学輸送モデル	気象研究所 五十嵐 康人
13日 (木)	8:40- 9:55	総 研 棟	農地土壌における放射性 Cs の 挙動	農業・食品産業技術総合研究機構 信濃 卓郎
	10:10- 11:25	A-107		
14日 (金)	8:40- 9:55	総 研 棟	環境放射線モニタリング (平常時から緊急時まで)	青森県 木村 秀樹
	10:10- 11:25	A-111		
	12:15- 13:30 13:45- 15:00		河川流域における福島第一原発 事故由来の放射性 Cs の挙動	国立環境研究所 林 誠二

環境科学専攻 集中講義

環境放射能動態解析論 I

(01AD703)



概要： 放射線の生物・動物影響の基礎から、環境中の極微量放射性核種測定や分布・挙動に関する最先端の研究を紹介する。

開講時期： H29年7月7日（金）、10日（月）、11日（火）

	時間	教室	内容	教員 (量子科学技術研究開発機構)
7日 (金)	12:15- 13:30	理系棟 B-501	原子力発電所事故による環境影響について	青野 辰雄
	13:45- 15:00		海洋環境における放射性核種について	
	15:15- 16:30 16:45- 18:00		環境中の人工放射性核種 プルトニウム 環境中の放射性核種分析法	鄭 建
10日 (月)	10:10- 11:25	総研棟 A-107	放射線による人体影響 外部被ばく	矢島 千秋
	12:15- 13:30		放射線による人体影響 内部被ばく	金 ウンジュ
	13:45- 15:00		放射線による生物影響 植物編	渡辺 嘉人
	15:15- 16:30		放射線による生物影響 動物編	府馬 正一
11日 (火)	10:10- 11:25 12:15- 13:30	総研棟 A-107	環境中の自然放射性核種 ウラン 環境中の自然放射性核種 トリウム	サファー サラタ クマール